



落穂会だより

夏季号 2010.7

社会福祉法人 落穂会
 鹿児島市首志町2503番地
<http://www2.synapse.ne.jp/asahigaoka><http://www2.synapse.ne.jp/asahi-center/>

知的障害児施設 あさひが丘学園 (Tel 238-4821)
 知的障害者更生施設 あさひが丘学園成人部 (Tel 238-4821)
 知的障害者授産施設 旭福祉センター (Tel 244-3551)
 知的障害者通所授産施設 第二旭福祉センター (Tel 244-3551)



第1回鹿児島県知事杯知的障害者フットサル大会準優勝 (あさひが丘学園)

学んだこと



旭福祉センター 副施設長 野田光徳

昭和四十六年五月、落穂会勤務を命ぜられて以来、今日まで利用者との関わりの中で、共に学び共に成長してきた。

勤務当初は、知的障がい者とふれあう機会がなく、戸惑う事が多い毎日でしたが、半年、一年と年を重ねる中で支援の仕方も見聞きしながら利用者とのコミュニケーションも徐々に取れるようになった。

昭和四十年代、鹿児島県内には知的障がい者の施設も少なく、県外の施設に見学に行き学ぶ事が多くあった。研修に参加した時、よく耳にした言葉が山本五十六の語録の「やって見せ、言っただけで聞かせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ」や、ある施設長の「知恵ある者は知恵を出せ、知恵なき者は汗を出せ、知恵も汗も出せない者は去れ」というものだった。この事を実践する中で、利用者と共に生活し、汗を流す事に喜びを感じたり、感動をもらうことで自身の励みになったり、日に日に信頼関係も強くなるのが肌で感じられるようになった。

継続することの大切さと、誠心誠意の支援の中で信頼が生まれ、支援の効果も大きくなり仕事を楽しめる事を自分の体験から伝えていきたい。

多様化する利用者の要望の中で、歩みを止める事なく経営理念である「共生と共創」のもと、笑顔が絶えず利用者の思いが叶えられるよう、更なるレベルアップを目指し勤務していきたいと思う。

保護者会ボランティア清掃

四月二十五日の日曜日、あさひが丘学園保護者会の皆様によるボランティア活動が実施され二十五家族、三十名の保護者の方々が参加しました。

お父様には食堂と児童棟の窓サッシレールの掃除をしていただきましたが、竹べらや工具を使い汗が流れるくらい一生懸命に掃除をされ、すごい集中力でした。

また、お母様には縫物をしていたいただきましたが、用意した数十束のハンカチ、靴下のネーム付けをわずか六十分程で縫い終わっていました。私たちは日頃、縫物をミシンに頼りますが、お母様方の手縫いの技術、早さに感心しました。

作業終了後、会議室にて懇談会があり和やかな雰囲気の中で自己紹介と今後の活動について話し合いが行われました。保護者ボランティアは、任意参加ですが回を重ねることに参加者が増えていきます。遠方より来られた方や、お忙しい中でのご協力に深く感謝いたします。

今後も、保護者の方々のご協力をいただきながら利用者の方々の生活がより快適で豊かになるように努めます。

退所者

◇あさひが丘学園(児童部)

・折田 命さん

・(障害福祉サービス事業所 ウイズ)

・古田 裕久さん

・(障害福祉サービス事業所 ウイズ)

・吉田 香織さん

・(障害福祉サービス事業所 ウイズ)

・柴 美歩さん

・(鹿児島障害者職業能力開発校)

新通所者紹介

◇あさひが丘学園 通所部

白石 智大さん

毎日、楽しく通所します。よろしくお祈りします。

◇旭福祉センター

中原 温子さん

わたしは、エコパックのたたみかたと、ピーマン

のふくろづめをがんばります。

新入所者紹介

◇あさひが丘学園(児童部)

下今別府 諒さん

おてつだいをがんばります。おともだちとなかよ

くたのしくしたいです。

鳥越 小理恵さん

いろいろなことにチャレンジして笑顔でがんばります。よろしくお祈り

します。

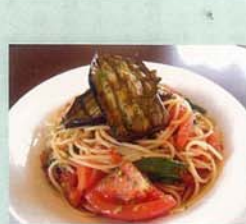
村尾 一成さん

好き嫌いがなく、何でも食べて元気ががんばります。

お友達とも仲良く遊びたいです。

かつエのどがオススメ!

トマトや茄子など毎朝採れたての野菜の旨味がぎゅっと詰まった、今の季節にはピッタリの冷たいパスタ。さっぱりとした味わいで、夏の疲れも吹き飛ばさず!



あび茄子と小松菜の冷製トマトパスタ ¥880

編集後記

昨年の政権交代、そして今年6月の首相の交代など今後の福祉政策、制度がどのように変わっていくのかが不安がありますが、その中で明るい話題がありました。今号に載っている知的障害者フットサル大会です。利用者の方々が、スポーツを通して一体となり懸命に頑張る姿は、とても感動しました。今回のフットサル大会のように、障害者の方々が主体的に参加できる社会が生活が保障される福祉政策が今後必要だと感じています。



障害者制度改革の動向①

あさひが丘学園園長 水 流 純 大

“Nothing about us without us”（私たちが抜きに私たちのことを決めるな）。このスローガンは国連で障害者権利条約が策定される過程において、すべての障害者の共通の思いを示すものとして用いられた。

わが国の障害者制度改革の検討は、昨年十二月に内閣に設置された「障がい者制度改革推進本部」の下におかれた「障がい者制度改革推進会議」（以下、「推進会議」）で行われているが、目指す方向性は障害者権利条約の批准を念頭に置いて障害者制度全般にわたる抜本的改革である。推進会議のメンバー二十四人のうち過半数を障害当事者又は家族が占めており、これまで役所（特に厚生労働省）が中心となつて作ってきた障害者施策を、その立案段階から当事者が関わる仕組みにしたことは画期的なことである。その意味で、障害者権利条約の策定過程で唱えられた“Nothing about us without us”の考え方を踏襲したものである。

推進会議は、障害者制度に関わる

様々な課題を検討の対象としており、今年一月から六月まで計十四回開催され、六月七日に第一次意見書を取りまとめた。第一次意見書では、まず、「基礎的な課題における改革の方向性」として、①地域で暮らす権利の保障とインクルーシブな社会の構築（地域移行や地域生活支援の充実を柱に据えた施策の展開）、②障害の捉え方（医学モデルから社会モデルへ）、③障害の定義（サービスが必要とするすべての障害者を支援）、④差別の定義（法律における定義の明確化）、⑤言語・コミュニケーションの保障（法律における定義の明確化）、⑥虐待のない社会づくり（虐待防止、被害の救済等の制度構築）、⑦障害の表記（国民各層の議論動向を踏まえた考え方の整理）、⑧実態調査（障害者及び家族の実態把握）が検討された。

それらを踏まえようとして、「横断的課題における改革の基本的方向性」として、①障害者基本法の抜本改正法案を平成二十三年通常国会に提出、

②障害者差別禁止法案を平成二十五年の通常国会に提出、③障害者総合福祉法案を平成二十四年通常国会提出、二十五年八月施行とのスケジュールが示された。

障害者本人や家族、事業者にとつて最も気になるのは障害者自立支援法に代わる新たな仕組みとして検討される「障害者総合福祉法」（以下、「総合福祉法」）の内容であろう。これについては、「総合福祉法」を集中的に検討する「総合福祉部会」が推進会議の下におかれ、四月より別途議論が行われている。総合福祉部会は、障害当事者や家族、事業者団体、研究者、自治体関係者等五十五名の委員で構成されており、この種の会議としては異例の大手帯となつている。これだけの大人数となると、さまざまな立場の広汎な意見を汲み上げるといふ意義がある一方で、議論が拡散しとまらないのではないかとこの危険もある。実際、六月七日に推進会議に提出された「障害者総合福祉法（仮称）の実施以前に早急に

対応を要する課題の整理（当面の課題）という報告書も、（時間の制約があったとはいえ）それぞれの委員の立場から意見を並列的に列挙したものになつており、議論の整理や集約が十分行われているとは言えない。総合福祉法の中身については本格的な議論はこれからであるが、どのような方向で整理されていくのかその行く末を注視していかなければならない。

今後の障害者施策の立案過程に障害当事者や家族が入ることは全く異論がないし、むしろ望ましいことだと思つているが、新たに構築される障害者制度が「財源の裏打ちのある実効性のある制度」になつてほしいと思う。なぜならば、障害者に関わるすべての施策は、障害者本人やその家族の実際の生活に直結するものであるからである。どんなにきれいに描かれていても「絵に描いた餅」は食ふことができない。多少形が悪くても「食べられる餅」が生活する人々には必要である。推進会議や総合福祉部会の議論が「食べられる餅」になることを心から願う。

本稿では、推進会議や総合福祉部会の検討状況について次号以降でも触れていきたいと思ふ。

「親善球技大会」

旭福祉センター

四月二十九日（木）に桜島で親善球技大会が行われました。

旭福祉センターは、前年と同様ソフトバレーとソフトボールに参加しました。

当日は天気にも恵まれ、絶好のスポーツ日和となりました。ソフトボールでは初めて大会に臨む選手が多く、緊張した面持ちで大会に挑みました。試合が始まると一層緊張してしまつたのか練習の時よりもミスが多く、声を掛け合うことが少なくなり、うまく連携が取れない場面もありました。

結果は二試合とも負けてしまいましたでしたが、選手がこの悔しさをバネに来年は優勝を目指して頑張つてほしいです。

ソフトバレーは七名の利用者が出場しました。試合前の練習では緊張しているのか、動きも表情もこわばっていました。いき試合になると、ボールが相手コートに落ちると、笑みがこぼれ「かまえて、ボール取るよ」と、コート内で声が飛び交いました。結果は一勝一敗と決勝には進むことができませんでしたが、みんなの力で一勝を掴み取ったことが選手たちの自信になつたようで、来年の試合

も頑張りたいとやる気を出していました。この大会が、連携や自信の大切さを学ぶ機会となつたことでしょうか。この大会を通じて学んだことを活かし、来年に向けて頑張つてほしいです。

「ダンスが演習」

旭福祉センター

五月二十九日（土）の夕方、カフェレストランのどかで「詩人の愛」（鹿児島市地域福祉部の玉利様を中心とした四名のメンバー）の方を招いて生演奏会を開催しました。当日は旭福祉センターの利用者十八名が招待され、おいしい料理に舌鼓を打ち、生演奏を楽しみました。

のどかがオーブンしてから約一年経ちましたが、音楽と食事のコラボレーションは初の試みということもあって、職員も準備に戸惑いました。



でも、みんなの楽しそうな笑顔を見ていると、あつという間に時間過ぎ、演奏会を開催して良かった

と私達も笑顔がこぼれました。今後地域の方々と交流を深めていくために、色々なイベントを企画していきたいと思ひます。

ヴォルカ鹿児島島の選手と交流練習！

あさひが丘学園

五月二十六日に学園にてヴォルカ鹿児島島の永田星馬選手、日高潤也選手と一緒にフットサルの練習を行いました。以前から、ヴォルカの選手と一緒に練習できることをみんなとても楽しみにしていました。練習ではパスやシュート練習を行った際に上手くできないところは両選手より指導してもらい、みんな真剣な表情がみられました。また、練習の合間には選手のリフティングショーを見

て、真剣な表情で練習していた時と別人のようにとても和やかな表情で見ているのが印象的です。練習終了後には選手と一緒に記念



練習終了後には選手と一緒に記念

撮影をしたり色紙にサインをもらうなど、とても充実した時間でした。今後このような機会を設けていければと思ひます。

第一回鹿児島県知事杯知的障害児者フットサル大会

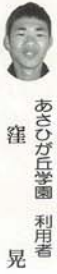
あさひが丘学園

五月二十九日に、中山のふれあいスポーツランドにて第一回鹿児島県知事杯知的障害児者フットサル大会が行われました。あさひが丘学園からは一部と二部の二チームが出場しました。二部では予選総当たりで三試合を戦い、一勝二敗で惜しくも三位でした。一部では予選二試合を十対〇、五対〇と大勝利、決勝トーナメントへ進出！準決勝では両チーム一歩も譲らず〇対〇の激闘！試合では決着がつかずPK戦となり見事PK戦を制しました。決勝戦では惜しくも敗れましたが、大健闘の準備に輝きました。

これまで講習会に二回、日中の練習ヴォルカとの合同練習を行い経験が積み重ねることで上達してきた選手たち。仲間を信じ一生懸命ボールを追いかけて精一杯プレーして得た準優勝。試合後の選手から出た「楽しかったけど悔しかった」との声。この思いを次の大会でリベンジしたいと思ひます。

この思いを次の大会でリベンジしたいと思ひます。

「楽しみなこと」



あさひが丘学園 利用者 窪 晃

去年の中学三年生の途中から、あさひが丘学園に来ました。今は、武岡（養護学校）の高等部一年です。学校は、まあ楽しいです。体育や音楽が好き。今、音楽で「若い力」を歌っています。運動会で歌います。運動会は、団体種目や綱引き、短距離走とか、かなり多いですよ。あとダンスも楽しみです。あと、フットサルの試合も楽しみです。みんなで練習にも行きました。知覧とかふれあいスポーツランド



さんぽみち

に行きました。バスとかドリブルとかシュートを練習しました。守ったり攻めたり楽しいです。バスが好きです。みんなにバスをだして点をいれたいです。試合には、絶対勝ちたいです。結果報告です。疲れたけど運動会は楽しかったです。短距離走は五位でした。フットサル大会も準優勝しました。嬉しかったです。

「早いもので……」



旭福祉センター 保護者 末 永 等

旭福祉センターに入所して、早いもので七年が経ちました。入所した当初はちゃんとやっていけるか心配でした。しかし、周りの方々の支えで少しずつですが、成長しているようです。家に帰って来た時は、今の仕事の事や、野球の試合の話を話してくれます。野球では上手く打てなかったと悔しそうに話してくれます。これからも、みんなと仲良く、毎日を楽しんで過ごしてほしいと思います。

「祖父の言葉」



旭福祉センター 職員 塩屋 修子

「人生は短い。だから、一生懸命勉強しなさい。そして、自分のやりたいことをしなさい。」 半年前に亡くなった祖父が最後に言った言葉です。祖母を早くに亡くした祖父は、厳しくも温かく見守ってくれた人でした。祖父の家では、毎年、年末年始や節句、行事ごとに親戚などで集まります。その時、口癖のように言われたことが「自分の目で見て、耳で聞いて世の中を知り、世界を知り、視野を広げなさい。やりたいことはまず挑戦しなさい。それが、自身の糧になる。そして、それを人の役に立てなさい。」という言葉でした。

その言葉を聞いて育った為か、高校の頃から県外へ一人で行ったり、興味のある場所へ旅行に行ったりするようになり、私自身そうした中でやりたいことや目指すものを探していました。そのおかげか、何事にも柔軟に対応できるようになり、物事の捉え方や考え方も客観的になりました。しかし、短大に入ってから、これというやりたいことにはたどり

着きませんでした。

就職活動の時期になっても、自分のしたいことや目標が定まっていまなかった。とりあえず、勧められた会社などを受けたが、どうするか決めかねていました。そんな時、今の職場の話を聞き、何ができるかわからないけど、自分ができると誰かの役に立てるならやってみようと思い、即決しました。

入社から4年経ちますが、利用者の様々な面に驚かされながら、あつという間に過ぎました。戦争を経験し、激動の時代を生き抜いた祖父の言葉には重みがあります。やりたいことをやらずに後悔するのと、やって後悔するのでは全く違うと思います。迷っていた私の背中を押してくれた言葉を忘れず、日々を過ごしていきたいと思えます。



さんぽみち



あさひが丘学園のグループホーム「花梨」のみなさんにスポット。五人の女性利用者が職員をサポートを受け楽しく生活しています。前号の九十号では、研修センターと伝えましたが、教育センターと聞き間違え違う場所で梅を探した話でした。今回は、その続きです。○休みの日など、よく散歩に行かれるとのこと。花梨近くでおススメの場所がありますか？

＊あじしんは？(職員)おひま(職員) ラーメン 雨が降った日は、注文します。 ゆきちゃん、焼きそば。野菜もたくさんです。 (どんぶり)

○たくさんメニューがありますね。私も食べてみたいです。 休みの日は、みんなで買物や散歩に出掛けたり話をきくだけでも楽しそうですね。 それから、花梨でお気に入りの場所がありますか。 〇自分の部屋。おかげさまでいいしよを見たり、自分でご飯も食べます。カラオケも新澤さんと木原さんで行きます。 〇自分のカセットデッキでカラオケをします。ホームヘルプを利用してカラオケにも行っています。(職員Kさん) 〇自分のお部屋。 〇餃子さんは、お気に入りの場所は？ (笑)ながら、困った表情で 〇冷蔵庫の中を開けてみるね。(職員Kさん) 〇笑いながら、も。 〇自分の部屋かな。 〇猫も遊びに来る。 〇猫が遊びに来るんですか。 〇近所の猫だよ。うちが猫の声を聞かせる(笑)。



＊現在の花梨では、卵焼きのとき甘口と塩味の二種類の卵焼きを準備する予定です。 〇今後、挑戦して

みたいことはありませんか。 〇言葉が聴いたり、絵を描いたり。 〇さつきと一緒にね。 〇ないです。ありませう。あたしはしませんよ。せつないし。 〇そうだねえ。新しい仕事をみつけた。 〇旅行かな。スイミングもまだ続いています。まあ、もっと手伝いをしたい。 〇(落穂会だよりを指差し) 旭福祉センターのお仕事ピーマン、きゅうりとか。 〇たまねもあつ。 〇がんばります。旭福祉センター旅行あるよ。 〇また、みんなで旅行に行きたいわ。 〇前は、スウェーワールドに行きました。次回の旅行についても考えておきますね。(職員Kさん) 〇お部屋あるよ。 〇(いとうさん)手塚さん(部屋見に来た) 〇急な訪問にも、笑顔で迎え入れてくれた花梨のみなさんでした。 これからもみんなで仲良く楽しいグループホーム生活を送ってください。 〇ありがとうございます。



ソフトバレーの選手です。

施設親善球技大会



旭福祉センター

ボールを落とさないように！相手コートへ！



旭福祉センター

綱取り競争です。みんな走れ～



ボールの行方は？

すなつぶスナツプ



旭福祉センター

たくさんのお花も、ゆっ／＼見て行ってください。

ふれあいバザール



今年もたくさんの方が来てくださいます！



旭福祉センター

吉野兵六バザー



快晴です。「ごちやうさいませー！」



頼りになる聞き手

第一回鹿児島県知事杯知的障害者ソフトサル大会

あさひが丘学園

準備勝のメダルがキラリ



永田星馬選手、日高潤也選手と一緒に

ヴォルカ鹿児島島の選手と交流練習

あさひが丘学園

サインをありがとう



居室などのサッシやレール掃除

保護者ボランティア清掃

あさひが丘学園

チームつけなどの雑物作業



もう、焼けたかな？

バーベキュー大会

あさひが丘学園

一外での食事は、格別です。